

多賀町の森林・林業を調べよう

【多賀町の森林・林業に関する本から調べる】

○『多賀町史』上巻・下巻 (多賀町史編さん委員会編、1991年)、別巻(1995年)	多賀町史は、多賀町全体の歴史を調べたいときの基本史料です。上巻には町内の森、老樹、名木や山論(山野の境界や利用をめぐる村落間の争論)について記載されています。下巻は、近世以降の山林行政、林業が記載されています。別巻にも森林行政、山論が記載されています。
○『郡林から組合林へ—営林70年のあゆみ—』(彦根市犬上郡営林組合沿革史編さん委員会編、1971年)	多賀町の山間部集落の成り立ちや産業がまとめられています。明治時代から昭和40年代までの営林についてまとめられています。
○『まちのあゆみ』(多賀町、2005年)	昭和30(1955)年から平成17(2005)年まで多賀町のできごとが年表にまとめられています。道路や林道の整備・上下水道の整備・教育・地域活動・企業誘致別の変遷を調べるのに便利です。

【滋賀県や周辺地域の本から調べる】

○『霊仙地域の自然その1』 (多賀町教育委員会編、2002年)	霊仙山に点在する5集落の概要や炭焼きの様子、植生について紹介されています。
○『共有林100周年のあゆみ』(大滝山林組合編、1993年)	明治26年に大滝山林組合が発足してから平成5年までの100年のあゆみがまとめられています。
○『120周年記念誌』(大滝山林組合編、2013年)	大滝山林組合の120年のあゆみがまとめられています。
○『組合林写真帖』(彦根市犬上郡営林組合編、1971年)	昭和40年代の植栽林の航空写真や造林、売却処分の様子を写真でみることができます。
○『富之尾史』(富之尾「村づくり委員会」編、1997年)	大滝山林組合の概要と沿革が収載されています。
○『佐目郷土史』(田畑喜與門、1974年)	佐目、南後谷、大君ヶ畑の共有林での炭焼きについて収載されています。
○『湖東・湖西の山村生活—離村部落の民俗報告—』(滋賀民俗学会、1968年)	霊仙地域の山間集落での山仕事の様子について、伝承者から聞き取ったものがまとめられています。

<p>○『脇ヶ畑史話』(多賀町史編纂委員会、1973年)、 『脇ヶ畑史話補遺』(1985年)</p>	<p>旧脇ヶ畑村(杉、保月、五僧)の山林経営や炭焼き、山論などが収載されています。山間部集落での暮らしの様子を知ることができる資料です。補遺には史話刊行以降の造林事業が収録されています。</p>
--	---

☆館内閲覧のみ(貸出禁止資料)

【統計から調べる】

<p>○『滋賀県森林・林業統計要覧』(滋賀県琵琶湖環境部)</p>	<p>滋賀県の森林・林業の現状や諸施策などについてまとめられています。毎年刊行されていますので、生産量の推移などを調べるのに便利です。</p>
-----------------------------------	---

※当館に所蔵している資料の中から紹介しています。ここに紹介した本以外にも関連する資料が他館に所蔵している場合もございますので、カウンターまでお気軽にお問い合わせください。